

記入見本：夫が外国籍の場合

婚姻届

令和 7 年 6 月 20 日 届出

在マレーシア日本国 大使 殿

総領事

フリガナはカタカナで記入

この欄に記入した外国籍夫の氏名(原則カタカナ)が、戸籍に記載されます。小書き文字(例:ッ)を使用する場合は、文字サイズを明確に小さく記入してください。

【夫の欄】 国籍を記入してください。

【妻の欄】 戸籍に記載の通り、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

(1) 氏 名	夫 になる 人		妻 になる 人	
	フリガナ (フリガナ) 氏 名 生 年 月 日	氏 名 生 年 月 日	氏 名 生 年 月 日	氏 名 生 年 月 日
(2) 住 所	マレーシア国スランゴール州ベタリンジャヤ市 テンプラ通り 1 サクラコンドミニウム A-1-1		左に同じ	
(3) 本 籍	マレーシア		大阪府大阪市旭区 大宮一丁目 1	
父母及び 養父母の氏名 父母との続き柄 (右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	父	母	父	母
	リム ウヨン タン メイリン	リム ウヨン タン メイリン	星 二郎 冬美	星 二郎 冬美
(4) 婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	夫の氏	妻の氏	新本籍(左の欄の氏の大がすでに戸籍の事項者となっているときは書かないでください)	
	大阪府大阪市旭区大宮一丁目 1	大阪府大阪市旭区大宮一丁目 1	大阪府大阪市旭区大宮一丁目 1	
(5) 同居を始めたとき	平成・令和 5 年 12 月		結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください	
(6) 初婚・再婚の別	初婚 再婚		初婚 再婚	
(7) 同居を始める 前の夫婦のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	夫	妻	同居・結婚式のどちらも行っていない方	
	夫	妻	同居・結婚式のどちらも行っていない方	
(8) 夫 婦 の 職 業	夫の職業		妻の職業	
	01		00	

外国籍父母の氏名は
日本文字で記入

住所は日本文字で記入

☑は不要

死別又は離別がある場合、該当区分に☑を入れ、日本国籍の方は和暦で、外国籍の方は西暦で、その年月日を記入。

【既に同居している方】

本欄に同居開始又は結婚式(挙行済みの場合)の年月のうち、早い方を記入。

【既に結婚式は行ったが、まだ同居していない方】

本欄に結婚式の年月を記入し、その他の欄に「まだ同居していない。」と記入。

【同居・結婚式のどちらも行っていない方】

本欄には記入せず、その他の欄に「まだ結婚式も同居もしていない。」と記入。

令和 7 年 6 月 13 日

婚姻証書添付。

マレーシア国 の方式により婚姻成立、スランゴール州ベタリン地区 作成の
国民登録所 同登録官

そ
の
他

婚姻後の新本籍を、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

【新しい本籍を、婚姻前(現在)の本籍とは異なる場所に設定する方へ】

当館での婚姻届の手続きに先立ち、「新しい本籍の場所が、本籍地として設定できるか」に関して、管轄する市区町村役場にあらかじめ確認してください。

署名欄・押印欄共に、blankのまま当館に持参願います。届出人となる
日本国籍の妻になる方に、当館窓口にて署名いただきます。(押印は任意)

届 出 人 署 名
(※押印は任意)

夫

印

妻

印

職業例示表(「婚姻届に係る記入上の注意点(共通)」の項に掲載)を参照し、「最も近い職業分類の番号」又は「具体的な職業名」のいずれかを記入してください。

電話番号は、日中に連絡可能なものを記入し、メールアドレスは誤送信防止のため、読み方を補足の上、丁寧に記入してください。

Mobile: xxx -xxxx-xxxx

E-mail: g2134q5s8_sample@ne6r7o90

ジーイチ キュー アンダー エムエル エヌ アルオーゼロ
パー